

ここ数年、リニア問題について他地域でお話させていただく機会が増えた。2015年はお陰さまで東京、名古屋に赴いた他、寄稿などの機会を得る事が多数あった。自営業の旅館を訪れてくださる人たちにも出来るだけ多くリニアの問題点に触れてもらえるようにさりげなく話しかけてみたりしている。

「リニアは良いものだと思っていたけど、話を聞いて反対の思いを強くしました」と感想を寄せてくださる方も少なくない。問題を知れば動きたくなるのが心情だ。「リニア凍結」の署名などを集めていた時などは今ある大鹿村の自然が残るようにと必ず署名をしていってくれた。

2010年からリニア問題に取り組み、署名も数回にわたり国土交通省に届けたものの、長野県側でこの冬着工と言われている。署名の効果があまりに残念だったのでそれに代わる意思表示はないものかと考えていた。

2015年5月リニア中央新幹線を考える登山者の会の集會に招かれた際、事務局から「リニアを利用する立場の人たちの言い分で『リニアはいらない』と言っていく必要があるのではないか」という提案で締めくくられた。具体的にはワッペンのようなものを考えているようだった。———それ、いいじゃん。といことでそのアイデアを持ち帰り、形にしてみた。イラストは大鹿村出身・在住で牛飼いの傍ら絵描きを生業としている青木連さん。レイアウトはデザイナーの宮島謡子さん（東京都）に協力していただいた。

リニアボイコットワッペンは利用者にあたる方（主に東京・名古屋・大阪在住）たちが「リニアに乗らない」と意思表示していただくのが狙いだ。「リニア」は経済活動なので利用者にあたる方たちが「必要ない」「リニアには支払わないよ」と言ってくれば建設に値しないものになりうると考える。

「リニアボイコットワッペン」はこうして出来上がった

2016年2月 前島久美

このリニアボイコットワッペンはカンパ500円で1個お渡ししている。ワッペンはお気に入りの鞆などにつけて「リニアは南アルプスの自然を壊すのでいりません」とさりと主張できる他、「夢のリニア超特急」乗車券と「国立公園南アルプス招待券」を同封している。もし「リニアは早くて良いものなのに、なんで乗らないの？」と聞かれたら招待券と乗車券を参照しながら、リニアのリスクと南アルプスの価値を力説していただければとても嬉しい。